

霧降高原に涼を求めて 赤薙山・丸山

実施日 2012年8月19日(日)
 天候 曇り(霧)
 リーダー 遠井 謙策
 参加者 一柳昭、涌井良明、山崎富美恵、鈴木恵美子、安田三恵子、渋谷京子、遠井謙策、岩崎陽子、天野拓郎 計9名
 費用 鉄道2,640円(浅草起算) タクシ-1,700円 計4,340円
 タイム 霧降高原第3駐車場(10:02)キスゲ平(10:58・11:10)焼石金剛(11:47)赤薙山山頂(12:27・13:13)キスゲ平分岐(14:08)丸山山頂(14:33)霧降高原第3駐車場(15:52)

ゲスト参加即日入会の若きエース天野氏に人気が集、山そっちのけで盛り上がるという、いかにもこぶし会らしい山行だった。

下界は晴れているのに、山に向かうにつれその名の通り「霧降」高原となる。



たっぷり過ぎる程の流れる霧に、日が一瞬包まれっぱなしの赤薙山であった。

スキー用リフトが工事中で、いきなり登山口が見つからないトラブルとなったが、程なく登場のコメツガ道を登り始めた。これが意外と辛い登り。高い湿度の上、ゴロ岩根っこ粘度土の急登で、話が違くと後ろから叱責の声が聞こえてきそう。やっと出た広場だが相変わらずの濃霧で視界ゼロ。風が出始め蒸し暑さからは開放されたが、笹しか見えない迷路道を肅々と歩き高度を稼ぐ。頂上直下の険しい道をひと登りで鳥居付き神社のある山頂へ。



2,010mは結構涼しい。豪華絢爛たるランチタイムを経て下山へ。霧は居座り全く動こうともしない。これでは得意の唄も出づらい。



それでも天は我々を見捨てなかった。丸山への分岐となるキスゲ平へ来掛かる頃、巨大な吸塵機が現れたかの如く一面の煙霧がサーッと去り行き、緑輝く日光連山とまぶしく光を反射する街並みが見えたのだ。その間わずか数分であったが、その美しさ感激は、凶らずも人生の教訓を与える。即ち、平常時には気付かない、元気に歩ける健康の有難さ、日々当たり前に享受している平穏……。



一回り大きく成長したメンバーが下山して後ろを振り向くと、たおやかな丸山がにっこり微笑

みかけていた。

帰りの東武線快速電車は、適度の疲労とアルコールに加え、若者加入で将来の展望が見え始めたこぶし会の話で、明るく楽しい盛り上がりを見せた各人を、家路へと運んで行ってくれた。



(記・遠井 謙策)
(写真提供・涌井良明)

